

氏名	尾 上 仁 一		
学位(専攻分野)	博 士(医 学)		
学位授与番号	博 甲 第 1057 号		
学位授与の日付	平成 4 年 3 月 31 日		
学位授与の要件	医学研究科 外科系 整形外科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)		
学位論文題目	慢性関節リウマチにおけるSuperoxide Dismutase(SOD)活性の測定と臨床的意義に関する研究		
論文審査委員	教授 岡田 茂	教授 太田 善介	教授 森 昭胤

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

活性酸素の一種であるSuperoxide ( $O_2^-$ ) の不均化酵素であるSuperoxide Dismutase (SOD) 活性を慢性関節リウマチ (RA) 膝関節液, 滑膜, 血清で測定し, 変形性膝関節症 (OA) 及び膝内障と比較し, 臨床病理学的に検討した。RA76膝関節液と12膝滑膜, OA50膝関節液と5膝滑膜を用いた。SODは電子スピン共鳴装置 (ESR) で測定した。臨床評価は日本整形外科学会RA膝治療成績判定基準を用いた。X線学的評価にはLarsen分類を用いた。滑膜の病理組織像の炎症程度とも対比した。

関節液中のSOD活性は, RAとOA間には有意差は認めなかった。また, とともに膝内障関節液及びRA, OA患者血清より高値であった。RA関節液中のSOD活性は, Larsen分類のGradeⅣで最高値を示し, 早期RAと晩期RAにおいては低値を示した。SOD活性は, RA関節における関節破壊の進行時期の一つの指標となると考えられた。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はスーパーオキシドジスムターゼ (SOD) 活性を慢性関節リウマチ (RA), 膝関節液, 滑膜, 血清で測定し, 変形性膝関節症 (OA) 及び膝内障と比較し, 臨床病理学的に検討したものである。その結果, 関節液中のSOD活性は, RAで高値を示し, OA患者のSOD活性とは有意差は認めないこと, またSOD活性がRA関節における関節破壊の進行時期の一つの指標となるという価値ある結果を得た。

よって, 本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。